

介護の

介護現場や地域で専門性を発揮できるセラピストになる

リハビリケア研修会

生活期リハの実践的リハビリアプローチとマネジメント術を習得

大阪会場

日時 2018年 **8月19日**(日)
10:00~17:00

会場 **マイドームおおさか**
(市営地下鉄堺筋線「堺筋本町駅」から徒歩6分)

参加費 **12,500円**(税・全12分科会の資料代含む)

東京会場

日時 2018年 **9月16日**(日)
10:00~17:00

会場 **TEPIA**(一般財団法人 高度技術社会推進協会)
(東京メトロ銀座線「外苑前駅」3番出口から徒歩4分)

参加費 **12,500円**(税・全12分科会の資料代含む)

介護現場で働くセラピスト・機能訓練指導員が **講師は全員実践経験豊富な理学療法士**
「今知りたい！」と思っていることを参加体験型でお伝えいたします！



医療・介護同時改定後の
リハ部門の**マネジメント**は
このままで**大丈夫か!?**

デイケアが**デイサービス**
との**差別化**を図るために
すべきことって何!?

リハ職に求められている
専門性の発揮って何!?

ご利用者に**効果**を
実感してもらうために
どうすれば良いの!?

プログラム

各時間帯で参加したい分科会を自由に選べます！(当日の変更も可)

講師	中道哲朗氏 <small>(ひかりメディカルグループ リハビリテーション部門統括責任者)</small>	講師	光田尚代氏 <small>(医療法人寿山会 喜馬病院 リハビリテーション部 課長)</small>	講師	生野達也氏 <small>(一般社団法人動きのコツ協会 代表理事)</small>	講師	野田和美氏 <small>(NPO 法人日本介護福祉教育研修機構 認定講師)</small>	
10:00	分科会① 2018年医療と介護の 同時改定に対する取り組み ・回復期リハ病棟、老健施設の在宅復帰対応 ・アウトカムを高める ・通所リハ、訪問リハ、通所介護での対応の変化と工夫	分科会② デイケア運営① 新規利用者確保と加算算定	分科会③ 歩行の限界に挑戦! ・歩行可否の判断の仕方 ・歩行困難事例をいかに歩行可能にするか	分科会④ ADL・IADLを改善する 福祉用具、自助具などの工夫 ・福祉用具、自助具、道具を使ったトレーニングの工夫 ・やる気のない人のやる気を出す工夫	休憩			
12:00	分科会⑤ リハビリ部門のグループ拠点間での 医療・介護連携 リハビリ部門のマネジメントと人材育成①	分科会⑥ デイケア運営② 短時間デイケアと長時間デイケアの メリット・デメリット	分科会⑦ 慢性片麻痺の方への アプローチと効果の出し方	分科会⑧ 慢性疼痛を持つ方への リハビリアプローチ ・運動器に痛みがある方へのアプローチ ・痛みから起こる抑うつ状態の強い方へのアプローチ ・中枢疾患系の痛みがある方へのアプローチ	休憩			
15:00	分科会⑨ リハビリ部門のグループ拠点間での 医療・介護連携 リハビリ部門のマネジメントと人材育成②	分科会⑩ デイサービス、デイケアの リハ職のあり方	分科会⑪ パーキンソン病症候群への アプローチ ・無動、すくみ足、姿勢制御異常などへのアプローチ ・口腔、嚥下、呼吸へのアプローチ ・ADL、IADL 改善へのアプローチ	分科会⑫ ワンランク上のシーティング技術				
17:00								

もっと詳しい分科会の内容は裏面またはホームページをご覧ください！

介護のリハビリケア研修会 で 検索

セラピストなどが知っておくべき考え方やツール等を 提示しながら、すぐに実践できる内容を交えてお伝えします

セラピストが現場臨床と今後どのように向き合うのか

中道哲朗氏の三方良しのマネジメントと人材育成

ひかりメディカルグループ リハビリテーション部門統括責任者／理学療法士

【当日の内容】 ※参加状況によって変更になる場合がございます

分科会①
2018年医療と介護の同時改定に対する取り組み

- 回復期リハビリテーション改定への取り組み
- 療養病床入院患者の在宅復帰の促進
- 介護老人保健施設の改定対応
- 通所リハ、通所介護、訪問リハの改定対応 ほか

分科会⑤
リハビリ部門のマネジメントと人材育成①

- 組織として何を実現するか
- インターナルマーケティングの重要性
- セラピストの残業時間減少対策
- インセンティブ制度の紹介 ほか

分科会⑨
リハビリ部門のマネジメントと人材育成②

- モチベーションマネジメントへの取り組み
- 目標設定による人材育成
- 採用基準と不採用基準
- 個人のビジョンと組織目標のマッチング事例の紹介 ほか

効果的なリハビリテーションの運営

光田尚代氏 多職種連携での効果的なプログラム

医療法人寿山会 喜馬病院 リハビリテーション部 課長／理学療法士

【当日の内容】 ※参加状況によって変更になる場合がございます

分科会②
デイケア運営① 新規利用者確保と加算算定

- 新規利用者確保のための工夫
- リハマネリハマネ加算Ⅱ・Ⅲ算定の工夫
- リハ会議の効率的・効果的な開催
- リハ職からご利用者への説明のポイント ほか

分科会⑥
デイケア運営② 短時間デイケアと長時間デイケアのメリット・デメリット

- 短時間デイケアと長時間デイケアのメリット・デメリット (グループワーク)
- 短時間デイケアへの移行に必要なこと
- 当施設の短時間デイケアと長時間デイケアにおける事例 ほか

分科会⑩
デイサービス・デイケアのリハ職の在り方

- 通所系サービスのリハ職に求められること
- 当施設での介護士によるグループリハビリと個別リハビリ (リハビリテーションマネジメント加算Ⅲのサービスとしての展開)
- 目標達成のための自主練習の提案 ほか

ご利用者が楽に動けるようになったと実感できる

生野達也氏の改善の可能性に寄り添うリハビリ

一般社団法人動きのコツ協会 代表理事／理学療法士

【当日の内容】 ※参加状況によって変更になる場合がございます

分科会③
歩行の限界に挑戦 歩行可否の判断の仕方、いかに歩行可能にするのか

- 歩行の運動学習メカニズム
- 歩行可否の判断のポイント
- 歩行困難事例の評価のポイント(実技)
- 歩行困難事例のアプローチのポイント(実技) ほか

分科会⑦
慢性片麻痺の方へのアプローチと効果の出し方

- 慢性期片麻痺の方における歩行困難事例の特徴
- 慢性期片麻痺の方への効果につなげるため脳科学
- 慢性期片麻痺の方の効果につなげる評価のポイント(実技)
- 慢性期片麻痺の方の効果につなげるアプローチのポイント(実技) ほか

分科会⑪
パーキンソン病症候群へのアプローチ

- パーキンソン病症候群の脳科学
- 無動、すくみ足、姿勢制御異常の評価とアプローチのポイント(実技)
- 口腔、嚥下、呼吸の評価とアプローチのポイント(実技)
- ADL/IADL改善の評価とアプローチのポイント ほか

なぜ、それが大切なのかの意味が理解できる

野田和美氏 生活場面での活動を広げる関わり方

NPO法人日本介護福祉教育研修機構 認定講師／理学療法士

【当日の内容】 ※参加状況によって変更になる場合がございます

分科会④
ADL・IADLを改善する福祉用具、自助具などの工夫

- スクリーニング、優先順位の決定
- 在宅アセスメント、実際の動作チェック
- 模擬トレーニング、実践的トレーニングにおける道具活用の工夫
- 環境改善と福祉用具活用による自立支援と自主トレーニングへ移行 ほか

分科会⑧
慢性疼痛を持つ方へのリハビリアプローチ

- 痛みの理解と共感
- 痛みの評価(アプローチできる痛みかどうか)
- 痛みに固執しやすすい方の特徴と対処法
- ご利用者と共に痛みの分析、痛みからの脱却 ほか

分科会⑫
ワンランク上のシーティング技術

- 中重度の方へのシーティング
- 認知症のある方へのシーティング
- 疾患別シーティング
- シーティングとフィッティング ほか

- 注意事項**
- 参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません参加者の変更は可能です。
 - 各時間帯で興味のある分科会へ自由にご参加いただけます。
 - 参加費とは別に材料費が必要になる場合は参加証に明記いたします。
 - 人数把握のため、参加分科会のご記入にご協力ください。(当日変更になっても構いません)

リハビリケア研修大会 お申し込み書		FAX 084-948-0641	
ご希望の会場に○をつけてください		8/19(日) 大阪会場	9/16(日) 東京会場
ふりがな	参加分科会	10:00~12:00 分科会 ()	参加分科会
参加者名		13:00~15:00 分科会 ()	
		15:15~17:00 分科会 ()	
法人名 勤務先名	連絡先 <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 ※どちらかに○	TEL	FAX
請求先 書類送付先 住所	(<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅※どちらかに○をつけてください) 〒	携帯電話	@
		メールアドレス (必須)	